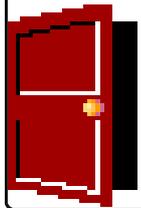


《読書活動の楽しさと大切さを伝えたくて》



読書活動への扉を開く！

桑村小学校 令和4年5月9日 文責 渡邊

この大型連休を安全に過ごせたことを嬉しく思います。
今回も、榎本博明著『読書をする子は〇〇がすごい』（日本経済新聞出版本部2021年5月）を参考に、「読書の効果」について考えてみたいと思います。

親の影響力として分かりやすいのはモデリングだ。心理学では、モデルとなる人物の真似をして何らかの行動様式を身に付けることをモデリングという。子供は身近な親の言動をひたすら真似することで新たな行動様式を身に付けていく。とくに言語能力の発達に関しては、モデリングの威力は絶大である。何しろまったく言語をもらわずに生まれた子がぺらぺらとしゃべるようになるのである。

同じ言語でも、豊かな語彙を用いて話す家庭で生まれ育てば豊かな語彙を獲得し、貧乏な語彙を用いて話す家庭で生まれ育てば貧乏な語彙しか獲得できない。とにかく何もないところから出発する言語の獲得では、親をモデルとするしかない。となると子供のためを思うなら、親も少しは頑張らねばならないだろう。

子が親から学ぶのは語彙だけではない。語彙を増やすには本を読むことが大切と言われるが、子供が本を読みたいと思うかどうか、じつは親の態度のモデリングによるところが大きい。

日常生活の中で、親が本を熱心に読むのを見ていれば、子供はその姿勢をモデリングによって身に付け、本を読むようになる可能性が高い。本を読むことがほとんどない親のもとでは、子供もその姿勢をモデリングによって身に付け、本にまったく関心を向けられない可能性が高い。『読書をする子は〇〇がすごい』（榎本博明著 日本経済新聞出版本部2021年5月）より

保護者の皆様から「仕事で疲れていて、また、時間がとれないことが課題である」という意見が寄せられました。そうした状況の中では、読書を行うことは難しいことであると思います。しかし、榎本氏の言うようにモデリングの効果は大きいです。始めは、10分間という短い時間からスタートしてはいかがでしょうか。大人も子供も無理のないところからスタートし、読書の楽しさが体感できたら自然と読書の時間も延びていくのではないかと思います。

さて、いよいよ「読書の効果」の中心となる「読解力」との関わりについてです。

読書によって読解力が高まり、各教科の教科書に書かれていることを理解できるようになる。先生の解説も理解できるようになる。わかれば楽しくなり、もっと知りたくなる。教科書に書かれていること以上のことを知りたくなり、参考書や図鑑などを読みたくなったりする。授業にも興味が湧いてくる。

一方、読解力が乏しいと、教科書を読んでもちんぷんかんぷん、先生の話すこともよくわからないといったことになってしまう。わからなければつまらなくなり、教科書にも授業にも興味がもてなくなる。

ゆえに、学力を高めるには、子供の頃から本や絵本に親しむことが重要な意味をもつことがわかる。

ただし、本や絵本を読めばいきなり読解力が高まるかといえば、そんな即効性があるわけではない。いろいろな本や絵本を読むことを通して語彙力が高まり、徐々に読解力が高まっていく。そこには、文章理解というのが文章と読み手の知識や経験が絡

み合って進むものだということが関係している。『読書をする子は〇〇がすごい』（榎本博明著 日本経済新聞出版本部2021年5月）より

榎本氏の言うように、「読解力」はすぐに身に付くことはできません。幼児期から児童期の読書経験が大切になるのです。

そして、桑村小学校で実践されている豊かな体験活動が「読解力」の育成において重要な要素となるのです。

文章を正確に読解するには豊かな語彙や知識が求められるし、文章に書かれていることを実感するには豊かな人生経験が必要となる。ただし、人生経験に関しては、自分自身の直接経験でなくても、本を読んだりした間接経験でも構わない。

たとえば、文章を論理的に読解できても、自然にほとんど触れずに過ごしてきた子は鳥について書かれた文章を読んでも、とくに心は動かず、淡々と読むだけになってしまうだろう。一方、自然の中で遊んだ経験が豊富な子は、木陰で鳴いていた小鳥の鳴き声を思い出したり、池で見かけたカモの親子を思い出したりして、温かな気持ちで文章を味わうことができる。『読書をする子は〇〇がすごい』（榎本博明著 日本経済新聞出版本部2021年5月）より



桑村小学校には、豊かな自然がたくさんあります。これは、本校の有する大きな強みです。この恵まれた自然環境を桑村小学校の教育活動に生かすことができたなら、子供たちの感性はますます成長していくことと思います。

左の写真は、4月5日に本校舎の3階から撮影したものです。校舎を見回りしていたとき、桜の花と富士山の絵があまりにもきれいだっただけで撮影しました。

とても豊かな自然の中で育った子供たちの感性を「読書」を通して、更に大きく育成したいものです。

今回も、読んでいただきありがとうございました。「読解力」や「感性」の育成には、豊かな体験活動と読書とが深く関連していることを強く感じたところです。

----- 切り取り線 -----

「読書活動の扉を開く」（5月9日号）を読んだの感想

()年()